

「都市計画マスタープラン(案)」のパブリックコメント実施結果について

実施結果等について、下記の通り公表します。また、市ホームページや市役所都市計画課都市計画グループ(本庁2階)、各支所窓口でも閲覧できます。

1. 意見募集の実施状況

- (1) 意見の募集期間：令和元年12月10日(火)～ 令和2年1月8日(水)
- (2) 意見の提出件数：7件
- (3) 意見の提出方法：持参5件 FAX2件

2. 意見の内容及び意見に対する市の考え方

No	1
意見のタイトル	全体構想(2)公共交通の整備方針について
意見の内容(原文)	P56③に記載されている公共交通の利用環境の向上についてですが、バス停などにおいては、ベンチや上屋などを設置し、使いやすいバス待ち環境への改善を検討する事は良いことだと思います。あわせて改善項目として「公共バスの本数増加や15分間隔等で運行等」の具体的な数値目標をいれる事は難しいのでしょうか？ 常陸大宮駅の交通結節機能の強化は人口減少社会に対応出来る効果的な集約型のまちづくり(P12)に必要な事だと思いますので是非実現していただければと思います。
意見に対する市の考え方	本市では、公共交通網のマスタープランとなる「常陸大宮市地域公共交通網形成計画」を平成30年3月に策定し、持続可能な公共交通網を実現するための様々な取り組みを進めております。 この計画では、地域特性やニーズに対応した公共交通ネットワークを構築することとしており、バスだけでなく、乗合タクシーなどを組み合わせて、安心・便利に利用できる公共交通網を形成していくこととしております。 都市計画マスタープランは、この計画と連携し、まちづくりの観点から公共交通網の充実に取り組んで行くものでありますが、公共バスの本数増加等の具体的な数値目標を本計画にて示してはおりません。 しかし、常陸大宮駅の交通結節機能の強化は、今後の本市のまちづくりにおいて非常に重要であることから、駅周辺整備の中で行う公共交通の環境整備と併せて交通結節機能の向上に引き続き取り組んでまいります。
No	2
意見のタイトル	地域別まちづくり方針(1)大宮地域のまちづくり方針について
意見の内容(原文)	P71に記載されているように2040年には大宮地域人口は市全体に対する割合は約70%までに上昇する事が想定されています。その事から大宮地域のまちづくりの方針、特に常陸大宮駅周辺エリアとしては居住者確保と居住者の生活の質の充実が大事と考えます。 その事からP73に記載されている「郷土」を次世代につなげるまちづくりに記載されている、「常陸大宮駅周辺の立地特性を活かし、本市の魅力や歴史・文化などを広く情報発信することのできる交流拠点の配置を進めます」の箇所ですが、歴史や文化を広く情報発信する交流拠点は集客能力のあるエリア、例えば道の駅等が望ましいのではないのでしょうか？ 常陸大宮駅周辺の立地特性を活かすのであれば、公共交通網の整備が前提になると思いますが、子育てに優しいエリア、生活の質の充実化しているエリア価値を目指し「公園を確保した小規模な子育て交流拠点」や「子育て支援・移住支援の集合住宅」が望ましいと考えます。 P23に記載されているように大宮駅周辺には共用面積が広い公園が無い事も事実です。常陸太田市にある子育て世帯にとって魅力ある居住環境を提供する賃貸住宅(ファミリーユクじヶ丘)が参考になるのではないのでしょうか？ 駅周辺の交流拠点整備について市としてどのように考えているかをお聞かせいただければと思います。大変お手数をおかけしますが、よろしく願いいたします。
意見に対する市の考え方	本計画では、道の駅などの集客能力のある既存の施設については、本市の魅力を発信する「交流拠点」と位置づけております。 また、これらの既存の施設に加え、市では現在、常陸大宮駅周辺の整備計画の検討作業を進めており、常陸大宮駅の周辺に、市民の生活利便性の向上に寄与する機能も有する、新たな交流施設の整備を検討しております。今後、検討が進んできた段階で、駅周辺整備の具体的な内容を市民の皆様にお示しいたします。

No	3
意見のタイトル	地域別構想 大宮地域のまちづくり方針について
意見の内容(原文)	P76に記載されている2)「多様な暮らし方、楽しみ方」が選べるまちづくり方針の■市街地の空洞化の解消とまちのにぎわい再生についてです。 市民活動団体や商工会、自営業の方々や協働により、既存商店街の活性化や魅力の向上を図るためのイベント等に取り組みます。と記述されていますが、常陸大宮市の担当課として今後新しく創設される可能性はあるのでしょうか？創設されない場合はどの課が担当になるのでしょうか？市民協働事業提案制度は市民協働課にひもづいてあると思いますが、本質的な改善を目指していくためのイベント等を実施するには予算が低すぎると感じています。マスタープラン策定後に「市街地の空洞化の解消とまちのにぎわい再生」に予算がつく可能性はあるのでしょうか？ 構想は大事ですが、実現にむけた具体性のあるプロセスが見えるようになると市民活動団体として行政側と一緒に動きやすくなるかと考えています。
意見に対する市の考え方	まちづくりでは、市民活動団体を始めとする様々な主体の方々や市が連携し、役割分担のもと協働により取り組むことが重要と考えております。 本計画の第6章「計画の推進に向けて」において、役割や連携などの基本的な考え方や計画の進行管理に関することなどを示しております。それらを踏まえ、本計画で示したまちづくりの理念の実現に向けて、市民活動団体を始めとする様々な主体の方々と一緒に取り組んでまいります。
No	4
意見のタイトル	大宮駅前通りを何とかしたい
意見の内容(原文)	人口減少、少子高齢化、問題山積みは分かりますが、それにしても、駅前通りから国道118号への十字路というのか、T字路というのか、そこにある建物(余りにも壊れた建物です)もさることながら、車社会と言えども、やはり駅前常陸大宮市の玄関口ではないのでしょうか。
意見に対する市の考え方	常陸大宮駅周辺は、本市の玄関口となるエリアとして考えており、本計画では、都市中心拠点として位置づけております。 また、第4章「3. 公共交通に関する方針」において、駅舎の改築や駅前広場の整備など、常陸大宮駅の交通結節機能の強化に向けた方針・施策を位置づけております。さらに、市では現在、常陸大宮駅周辺の整備計画の検討作業を進めておりますので、今後、検討が進んできた段階で、駅周辺整備の具体的な内容を市民の皆様にお示しいたします。
No	5
意見のタイトル	常陸大宮駅を中心とした交通インフラの整備を
意見の内容(原文)	現マスタープランは広範囲すぎて、傾向(少子高齢化)が変わっていないのに、わずか10年程で見直しをしないといけないのも残念である一方、納得できます。なにを町おこしの起点とするか、しっかり計画をしてほしいです。 車社会から外れている、子ども、高齢者のことを考えないと、なかなか人口も増えていかないのでは？私は、常陸大宮駅を中心とした、交通インフラの整備を迅速にすすめて欲しいと考えます。町内(徒歩圏内)以外の方たちも、旅行者も、移住を考えている人たちも、車以外の通勤・通学、市のサービスを受けられる利便性があると思ってもらえるような。 冬は寒くて、夏は暑い駅舎で待つだけでなく、暖かく、涼しい場所で車を待てる。お土産を買える、大宮止まりの自動車からその先に行けるバス、迎えの子どもを待っていてくれる、学校帰りの子どもが本を貸したり、返したりできる図書カウンターサービス、市役所まで安全に行ける歩道などをおねがいします。
意見に対する市の考え方	人口減少・少子高齢化に対応したまちづくりは、今回の重要なテーマの1つであると考えております。そのため、全体構想の1つに「公共交通に関する方針」を掲げ、常陸大宮駅の交通結節機能の強化や中心市街地と各地域を連絡する公共交通網の充実、公共交通の利用環境向上などに関する方針・施策を位置づけております。 さらに、市では現在、常陸大宮駅周辺の整備計画の検討作業を進めておりますので、今後、検討が進んできた段階で、駅周辺整備の具体的な内容を市民の皆様にお示しいたします。
No	6
意見のタイトル	「住みたい」と思えるまちづくり
意見の内容(原文)	常陸大宮市の人口統計を見ると、人口減少はますます進むばかりである。将来的に若い人に住んでもらったり、商業施設を誘致したりするためには、しっかりと都市計画が必要である。 ひたちなか市や那珂市は、若い人たちが「住みたい！」と人気のある地域であるが、その理由は都市計画がしっかりしていて、都市計画指針にあるような道路が整備されており、商業施設や住宅が作りやすくなっている。 都市計画に当たっては、近隣の市(ひたちなか市、那珂市など)の良いところを取り入れたり、若い人や幅広い層の人たちの意見を取り入れてほしい。
意見に対する市の考え方	人口減少・少子高齢化に対応したまちづくりは、今回の重要なテーマの1つであると考えております。そのため、本市が「定住」「交流」の場として選ばれるまちとなるように、まちづくりの理念(テーマ)を設定いたしました。今後は、本計画に基づき、計画的にまちづくりを進め、「定住」「交流」の場として選ばれるまちを目指してまいります。 計画の実施にあたっては、先進事例などを参考にしつつ、幅広い層の市民の皆様からご意見をいただきながら、本市に望ましい取り組みを進めてまいります。

No.	7
意見のタイトル	—
意見の内容 (原文)	<p>第1章の中で、計画期間が2020～2039年度とありますが、今後は今までに経験したことの無い人口の減少、環境の激変、防災の重要性から、この期間を3～5年に1度の割合で計画上のチェック(再改定)が必要になると考えられる。計画決定から更に実施確定年度となると、限りなくシビアに計画実施をして行かないと、予算的な裏付けがない不安定・不確実になる恐れがある。</p> <p>計画の推進に向けての第6章の計画の進行管理と推進については、シビアなプラン・ドウ・チェック・アクションを適宜に実行していただきたい。</p> <p>施策の取組み期間との関連では、施策に対する取組みを「短期」に前倒しすべき事業もあるような気がしますので再検をしてみてもとを考えます。</p>
意見に対する市の考え方	<p>まちづくりは、その実現に至るまでに多くの時間が必要となりますので、本計画の計画期間は、20年間としました。</p> <p>しかし、都市を取り巻く環境の変化は激しいことから、第6章「2. 計画の進行管理と推進」で示した「PDCA (Plan Do Check Action)」の流れを持つマネジメントサイクルによって各種施策や事業の進捗状況を評価・管理し、必要に応じて計画を見直し(改定)いたします。</p> <p>また、本計画で示した施策の取組時期は、現在の本市の状況を踏まえ、関係各課と調整を図りながら設定しております。なお、施策の優先度や取組時期は、本市の状況に応じて変化することから、マネジメントサイクルによる評価を踏まえ、適宜見直してまいります。</p>

問 本庁 都市計画課都市計画G ☎52-1111 内線253 FAX 53-5415

市産農畜産物放射性物質測定結果について

市内で生産、または採取された農畜産物などを対象に実施した放射性物質の測定結果をお知らせします。

【検査条件】

使用機器：日立アロカメディカル株式会社製CAN-OSP-NAI(簡易検査機器)ATOMTEX社製AT1320(簡易検査機器)

検査法：NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ計測時間：30分 検査期間 1/7～1/28

検体名	採取場所	検出値(Bq/kg)		基準値
		セシウム134	セシウム137	
ふきのとう	小田野	検出せず	検出せず	セシウム134,137 100Bq/kg
鶏卵	大岩	検出せず	検出せず	
イノシシ肉	吉丸	検出せず	検出せず	

※「検出せず」とは放射性セシウムが存在しないか、検出限界値未満のことです。本検査は簡易検査であり、安全を保証するものではありません。

○放射性物質検査日 ※土・日曜日、祝祭日及び12/29～1/3は除く

【本庁 農林振興課】大宮地域・山方地域：月～金曜日

【緒川支所】美和地域・緒川地域・御前山地域：月～金曜日

○放射性物質検査申込方法

検査を希望する方は、お住まいの地域の検査日の前日(月曜日に検査を希望する方は前週の金曜日)までに電話でお申し込みください。

・受付時間 8:30～17:00 ※土・日曜日、祝日は除く。

・申込みは先着順(1日8件)に受け付けます。

・申込みは1世帯1検体とし、その検査が終了するまで次の検査の申込みはできません。

○検体の提出、返却

・検査日の当日8:30～9:00までに検体を申込窓口まで提出してください。なお、提出する際に、検査申込書に記入願います。

・検体は土などを水で洗い落とし、できるだけ細かくして、未使用のビニール袋等に入れてください。検査に必要な量は1kg(液体や粉状のものは1ℓ以上)です。

・検査終了後、検査結果報告書と一緒に検体を返却しますので、再度、16:00～17:00までに窓口にお越しください。

問 本庁 農林振興課農業畜産G ☎52-1111 内線208 緒支 総合窓口・地域振興G ☎56-2111

国民年金の付加保険料について

付加保険料制度は、国民年金保険料の一般保険料に加えて付加保険料(月々400円)を納めることにより、老齢基礎年金に付加年金が上乘せされる制度です。

付加保険料を納めるためには、申込みが必要であり、申込みをした月分から付加保険料を納めることになります。

お手続きを希望の方は、市役所(医療保険課)へお申し出ください。

問 本庁 医療保険課医療・保険G ☎52-1111 内線163

予約 日本年金機構水戸北年金事務所国民年金課 ☎029-231-2283